

総合的な学習の時間学習指導案

学校名 海田町立海田西中学校

授業者 大塚 聡子

1 日 時 平成28年10月5日(水) 第5校時

2 学 年 第3学年 66名(実行委員 8名)

3 場 所 2F うぐいす学級・体育館

4 単元名 ふれあい体験学習

5 単元について

(1) 生徒観

本学年の生徒は、全体的に落ち着いて学習に臨んでいる。技術・家庭科(家庭分野)での保育園訪問に関して、楽しみにしていた生徒も多く、実際に訪問後、「笑顔で接していると自然に打ち解けることができた」「園児が楽しそうに遊んでいる姿を見て、自分たちも楽しめた」と感じた生徒が多かった。

しかし、課題として、任された時間の使い方がうまくいかず時間が余ったり、足りなかったり、計画が十分でなかったと感じたグループもあった。また、保育園訪問での反省点をふれあいの会にいかしていきたいと意欲的なグループもあった。本単元は、幼児との遊びやふれあいを通して、幼児への理解を深め、関心を高めるとともに、自己の成長を振り返り、家族や周囲の人々との人間関係の大切さを見いだすこと、また、保育園児を学校へ招く体験学習について生徒自ら課題を見つけ、それについて自分で調べ、考えることができる力を身につけることを目標としている。本校の総合的な学習の時間の目標である「自分と地域とのかかわりについて、探求的な活動を通して、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。」の仕上げとなる単元である。

本単元において、保育園訪問のための遊びの計画を立てることやおもちゃの製作を行うこと、園児を中学校へ招待し、実際に幼児と触れ合う機会を持ち、その生活の様子を知ることが、幼児についてさまざまな視点から理解することにつながる。また、この体験は、自己の成長を振り返り、家族との絆について考える機会となるとともに、将来の生き方や地域社会の関心へとつながると考える。

(2) 単元観

本単元は、幼児との遊びやふれあいを通して、幼児への理解を深め、関心を高めるとともに、自己の成長を振り返り、家族や周囲の人々との人間関係の大切さを見いだすこと、また、保育園児を学校へ招く体験学習について生徒自ら課題を見つけ、それについて自分で調べ、考えることができる力を身につけることを目標としている。本校の総合的な学習の時間の目標である「自分と地域とのかかわりについて、探求的な活動を通して、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。」の仕上げとなる単元である。

本単元において、保育園訪問のための遊びの計画を立てることやおもちゃの製作を行うこと、園児を中学校へ招待し、実際に幼児と触れ合う機会を持ち、その生活の様子を知ることが、幼児についてさまざまな視点から理解することにつながる。また、この体験は、自己の成長を振り返り、家族との絆について考える機会となるとともに、将来の生き方や地域社会の関心へとつながると考える。

(3) 指導観

本単元の指導に当っては、保育園訪問で課題と感じた点を整理させ、新しいグループでの遊びの計画

や製作に活用させたい。

情報収集に当たっては、保育園訪問で実際に体験したことや、技術・家庭科（家庭分野）の授業で学習したことを情報として参考にさせたい。

本学年の生徒は、保育園訪問で幼児と触れ合うことで体験した幼児に対する理解や関心を深めることができた。幼児と接することで自分の成長を振り返り、将来の自分の生き方や家族との絆、人間関係の大切さを感じ取らせたい。

6 単元の概要

(1) 単元の目標

- ・幼児との遊びやふれあいを通して、幼児への理解を深め、関心を高めるとともに、自己の成長を振り返り、家族や周囲の人々との人間関係の大切さを見いだす。
- ・保育園児を学校へ招く体験学習について生徒自ら課題を見つけ、それについて自分で調べ、考え理解することができる力を身につける。

(2) 単元で育てようとする資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

- ア 課題を発見したり、選択したり、構成することができる。
- イ 目的に合った情報を収集、選択、処理することができる
- ウ 調べたことや、それらについての自分の考えを整理し、わかりやすく表現することができる。

【自分自身に関すること】

- エ 見通しを持って解決の計画を立てることができる。
- オ 意欲的に問題解決に向けて取り組むことができる。
- カ 自己の生き方について考えることができる。

【他者や社会とのかかわりに関すること】

- キ 仲間と協力して課題に取り組むことができる。
- ク いろいろな体験や活動を通して人とふれあい、自己を見つめ、他者を尊重することができる。

7 単元の評価規準

観点	学習方法	自分自身	他者や社会とのかかわり
単元の評価規準	ア 課題を発見したり、選択したり、構成することができる。 イ 目的にあった情報を収集、選択、処理することができる。 ウ 調べたことや、それらについての自分の考えを整理し、わかりやすく表現することができる。	エ 見通しを持って解決の計画を立てることができる。 オ 意欲的に問題解決に向けて取り組むことができる。 カ 自己の生き方について考えることができる。	キ 仲間と協力して課題に取り組むことができる。 ク いろいろな体験や活動を通して人とふれあい、自己を見つめ、他者を尊重することができる。

8 指導と評価の計画（38時間）

時	学習内容	評価					評価規準 (評価方法)
		課題発見・解決力	主体性	自らへの自信	チャレンジ精神	地域への愛着	
2	<p>課題の設定</p> <p>○総合的な時間の「ねらい」や「身につけたい能力」等を知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>○ふれあい体験学習で大切にすることを確認する。</p> <p>○担当する幼児の年齢に合った遊びを考える。</p>						<p>【自－エ】(ワークシート・行動観察)</p> <p>・見通しを持って解決の計画を立てることができる。</p> <p>【自－オ】(ワークシート・行動観察)</p> <p>・意欲的に問題解決に向けて取り組むことができる。</p>
2	<p>情報の収集</p> <p>○年齢ごとのおおまかな発達段階を調べ、年齢に合う遊びを調べる。</p>						<p>【学－ア】(ワークシート)</p> <p>・課題を発見したり、選択したり、構成することができる。</p> <p>【学－イ】(ワークシート)</p> <p>・目的にあった情報を収集、選択、処理することができる。</p> <p>【他－キ】(ワークシート)</p> <p>・仲間と協力して課題に取り組むことができる。</p>
9	<p>整理・分析</p> <p>○担当する幼児の年齢に合った遊びのルールを考え、おもちゃの製作を行う。</p> <p>○実際に幼児とふれあい、遊びや時間配分などは良かったかをまとめる。</p>						<p>【他－キ】(ワークシート・行動観察・制作物)</p> <p>・仲間と協力して課題に取り組むことができる。</p> <p>【自－オ】(ワークシート・行動観察・制作物)</p> <p>・意欲的に問題解決に向けて取り組むことができる。</p>

1	情報の収集 ○昨年度のふれあい体験の様子を知る。 ○今年度のふれあい体験への招待する園児の数を 知る。				【自ーエ】 (ワークシート) ・見通しを持って解決の計画を立てることができる。 【学ーイ】 (ワークシート) ・目的にあった情報を収集, 選択, 処理することができる。
15	整理・分析 ○幼児を招く会を開く上で必要なことなどを考える。 ○会の名称・内容を考える。 ○グループごとに課題を設定する。 ○年長の園児に合う遊びやおもちゃの製作の企画書を書く。 ○製作活動を行う。 ○活動を振り返り, ふれあいの会がよりよいものになるように活動を続ける。 【本時12 / 15】				【他ーキ】 (ワークシート・行動観察・制作物) ・仲間と協力して課題に取り組むことができる。 【学ーア】 (ワークシート・行動観察・制作物) ・課題を発見したり, 選択したり, 構成することができる。 【学ーイ】 (ワークシート・行動観察・制作物) ・目的にあった情報を収集, 選択, 処理することができる。 【自ーオ】 (ワークシート・行動観察・制作物) ・意欲的に問題解決に向けて取り組むことができる。
5	まとめ・創造・表現 ○園児を招待し, ふれあいの会を行う。 ○活動のまとめを行う。				【他ーキ】 (行動観察・ワークシート) ・仲間と協力して課題に取り組むことができる。 【他ーク】 (行動観察・ワークシート) ・いろいろな体験や活動を通して人とふれあい, 自己を見つめ, 他者を尊重することができる。
3	まとめ・創造・表現 ○これまでの活動をポスターにまとめる。 ○文化祭でステージでの発表やポスターの展示発表, 製作したおもちゃの展示を行う。				【学ーウ】 (行動観察・制作物) ・調べたことや, それらについての自分の考えを整理し, わかりやすく表現することができる。 【他ーキ】 (行動観察・制作物) ・仲間と協力して課題に取り組むことができる。

1	<p>振り返り</p> <p>○ふれあいの会や文化祭での発表をもとに、課題やねらいが達成できたか、学習のまとめをする。</p>					<p>【自-カ】(ワークシート)</p> <p>・自己の生き方について考えることができる。</p> <p>【他-ク】(ワークシート)</p> <p>・いろいろな体験や活動を通して人とふれあい、自己を見つめ、他者を尊重することができる。</p>
---	--	--	--	--	--	---

9 本時の展開

(1) 本時の目標

これまでの活動を振り返り、ふれあい体験をよりよいものにする。

(2) 本時の観点別評価規準

仲間と協力して課題に取り組むことができる。

(3) 準備物

タイムテーブル原稿、台本、製作物

(4) 学習展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導 入	<p>1 前時までの振り返り</p> <p>○前時の活動内容の確認する。</p> <p>2 本時の活動内容</p> <p>○本時の目標を知る。</p>	<p>・これまでの活動内容を想起させる。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>これまでの活動を振り返り、ふれあい体験をよりよいものにする。</p> </div>			
展 開	<p>3 グループ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて、進捗状況の確認を行う。ふれあいの会をよりよいものにするための課題を出し合う。 ・課題を意識しながら、活動を行う。 	<p>・活動の振り返りを行う。</p>	<p>・仲間と協力して課題に取り組むことができる。</p> <p style="text-align: center;">(行動観察)</p> <p>・意欲的に問題解決に向けて取り組むことができる。</p> <p style="text-align: center;">(行動観察)</p>

ま と め	<p>4 本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題がどのくらい解決できたか、確認する。 <p>5 次時の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回が活動の最終になる予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題にどのくらいまで取り組むことができたか作業の確認をさせる。 	
-------------	--	--	--

(参考)

ふれあい体験 グループ分け

グループ	人数	活動内容
実行委員	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい体験の運営 ・始めの会, 終わりの会の運営 ・会場の飾り付け (主にステージ) など
おみやげ	12	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンプカードの製作, 体育館入り口の飾り付け ・園児にプレゼントするお土産の製作 ・園児の引率 (当日) など
体を動かす遊び	22	<ul style="list-style-type: none"> ・体を使った遊びの立案・製作・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・風船キャッチ ・ボールプール ・PK ・自分たちのブースの飾り付け ・園児の引率又はブースの運営 など
頭脳や指先を使う遊び	24	<ul style="list-style-type: none"> ・頭脳や指先を使った遊びの散る案・製作・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンガ ・かるた ・釣り ・パズル ・空気砲 ・脱出ころころ ・自分たちのブースの飾り付け ・園児の引率又はブースの運営 など